



美しい 県土づくりNEWS

2021年
3月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌祝第200号!
令和3年3月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ◆2 東日本大震災津波から10年
宮古盛岡横断道路が全線開通!
- ◆4 令和2年度優良建設関連業務表彰式
- ◆5 優良工事21件を表彰
～優良県営工事表彰・優良下請負企業表彰～
- ◆7 「建設業新分野進出等表彰式」を開催!
- ◆8 岩手県の除雪の取組を紹介します!
～日常生活を支える安全な道づくりの推進～
- ◆10 東日本大震災津波からの復興に向けて
～令和2年度 県土整備部の取組状況～
- ◆13 岩手県自転車活用推進計画を策定しました!!
- ◆15 (特集)美しい県土づくりNEWS 創刊200号!

三陸復興

東日本大震災津波から10年 宮古盛岡横断道路が全線開通!

令和3年3月28日(日)、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている宮古盛岡横断道路が全線開通しました。

全線開通後は、宮古盛岡間の所要時間が震災前と比較して約30分も短縮されます。これにより、路線全体として安全性や速達性、定時性が大きく向上し、沿岸と内陸の更なる交流連携の促進、迅速かつ安定した救急搬送、広域観光や物流の活性化など多くの効果が期待されます。



テープカット・くす玉開披 (写真提供: 三陸国道事務所)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和3年(2021年)3月号: ✨ 第200号 ✨ ▲

東日本大震災津波からの復興に向けて ～令和2年度 県土整備部の取組状況～

県土整備企画室

令和3年3月11日で東日本大震災津波の発災から10年が経過しました。県土整備部は、被災地の一日も早い復興に向けて、インフラの復旧や整備等に取り組んでいます。

今号では、東日本大震災津波からの復興に向けた令和2年度の主な取組をご紹介します。

主な復旧・復興事業の進捗状況（令和3年3月末見込み）

復興まちづくり（面整備）	7,472区画 全ての宅地整備が完了。
復興道路等	事業化延長 359km のうち、 328km（約91%）が開通。
津波防災施設 （県土整備部所管分）	65地区のうち、 59地区（約91%）が完了見込み。
災害公営住宅 （沿岸部・内陸部）	5,833戸 全ての整備が完了。

各分野の取組状況

復興まちづくり ～復興まちづくり（面整備）は全てが完成～

岩手県は、復興まちづくりの基本的な考え方として、多重防災型まちづくりを目指しています。これは、被害状況や地理的条件、歴史や文化、産業構造などに応じて、その地域に合致した「津波防災施設」、「まちづくり」、「ソフト対策」を適切に組み合わせ、被害をできるだけ最小化するという「減災」の考えにより「安全の確保」を図るものです。

今年度までに、計画 7,472 区画の **全ての宅地が完成**しました。

- 防災集団移転促進事業：88 団地、2,090 区画
- ※ 漁業集落防災機能強化事業：41 地区、471 区画
- 土地区画整理事業：19 地区、4,911 区画
- 津波復興拠点整備事業：10 地区



▲ 防災集団移転促進事業「大槌町赤浜地区」
(平成31年4月撮影)



▲ 津波復興拠点整備事業「釜石市東部地区」
(令和2年3月撮影)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和3年(2021年)3月号: ✨ 第200号 ✨ ▲

復興道路等の整備

～高規格幹線道路の整備が進み、利便性向上や産業振興に寄与～

国が施行する復興道路（三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路）については、令和2年度に78km※が開通しました。（※県内開通延長）

三陸沿岸道路（県内）は、野田久慈道路（普代～久慈）、田野畑道路（田野畑南～尾肝要）以外の区間が開通し、令和3年内の全線開通を予定しています。また、宮古盛岡横断道路は、今年度末までに事業化している区間が全線開通し、これらの効果が全県に広がることが期待されています。

復興道路を補完する道路として県が施行する、復興支援道路や復興関連道路については、国道340号押角峠工区（岩泉町、宮古市）と、県道明戸八木線小田の沢工区（洋野町）など新たに6箇所が開通しました。

令和2年度までに、復興支援道路については整備計画箇所38箇所のうち35箇所、復興関連道路については整備計画箇所20箇所のうち19箇所が開通しています。



▲三陸沿岸道路「宮古中央 JCT～田老真崎 IC」
宮古盛岡横断道路「宮古港 IC～宮古中央 IC」開通
(令和2年7月12日)



▲復興支援道路「一般国道340号押角峠工区」開通
(令和2年12月13日)



▲宮古盛岡横断道路「区界～築川」開通
(令和2年12月5日)



▲復興関連道路「主要地方道重茂半島線」完工式
(令和3年1月23日)



▲三陸沿岸道路「洋野町種市 IC～曙上 IC」開通
(令和2年12月12日)



▲復興支援道路「一般国道284号石法華工区」開通
(令和3年1月24日)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和3年(2021年)3月号: ✨ 第200号 ✨ ▲

津波防災施設

～防潮堤等の津波防災施設は9割以上の地区で完成～

防潮堤や水門等については、県、市町村合わせて134地区のうち、県土整備部では65地区で整備を進めています。

今年度は、久慈市の久慈川など5箇所が概成し、3月末までに約9割の地区の概成を予定しています。

また、津波発生時に現地で人が操作することなく、水門・陸閘を安全かつ迅速・確実に閉鎖できる「水門・陸閘自動閉鎖システム」の整備を進めており、今年度新たに気仙川水門(陸前高田市)など72箇所での運用を開始しました。3月末までに214箇所のうち142箇所(約66%)が運用を予定しています。



▲片岸海岸(釜石市):令和元年9月整備完了



▲田代川(宮古市):令和3年3月整備完了

災害公営住宅

～県内全5,833戸の整備が完了～

災害公営住宅は、県と市町村で計5,833戸の整備を進めてきました。

令和2年12月に盛岡市南青山99戸が完成し、全ての整備が完了しました。



▲県営南青山アパート(盛岡市):令和2年12月完成



▲県営南青山アパート完成式:令和3年2月11日

復興10年にあたって

県としては、現在も実施している事業箇所について、一日も早い完成に向けて取り組むとともに、国の第2期復興・創生期間においても、被災者のこころのケアやコミュニティ形成支援など中長期的に取り組むべきソフト事業を始め、引き続き必要な施策を進めていきます。